

こんにちは 野々市市議会です



平成28年度一般会計補正予算等の
議案を審査

… 2P

6月定例会一般質問 9人が登壇

… 3P

市民の声

… 12P

議会だより

10号

2016年(平成28年)



宮前 一夫 議員

参院選で選挙権年齢が18歳以上になる ポスター掲示板の設置場所見直しを図れ

若年の有権者への選挙啓発も含め、金沢工業大学
と野々市明倫高等学校前に移設することとした

Q 市の人口変化・各地区の市街化による居住エリアの変化に伴い、選挙時のポスター掲示板や、投票区の見直しなどを行うことで、市や選挙管理委員会として、少しでも投票率のアップ、政治への関心、投票意識の向上への補完を図ってはどうか。

A 副市長 ● 本市では、市内66か所に設置をしている。設置場所の選定に際しては、有権者に対する選挙啓発の一面を考え、できるだけ多くの方の目に留まる場所を基本とし、「設置・撤去が容易」、「確実に固定できる柵や基礎がある」、「多くの人数が立候補する市議会議員選挙や同日選挙の場合でも掲示スペースを確保できる」、「設置により見通しが悪くなるなど、他に支障がない」場所を考慮の上、都度検討してきている。ここ最近でも、平成26年の衆議院議員総選挙時には、本町1丁目の防災コミュニティセンター駐車場前へ、平成27年の市議会議員選挙時には、菅原小学校南側フェンスへ移設した事例などがある。今回は、新たに18・19歳の方が有権者となることから、若年有権者への啓発も含め、金沢工業大学・野々市明倫

Q 多くの市民の目に触れるよう民間施設の活用も

A 副市長 ● 公共施設など多くの市民が出入りする場所の検討など、今後も宅地化その他の周辺の状況変化に対応し、より効果的なポスター掲示板の場所について見直していきたいと考えている。

Q 保護者の方が出入りされる保育園や幼稚園、地域の方が利用される小中学校の体育館などの出入り口、市民の利用度が高い文化施設・体育施設をはじめ、民間の商業施設、集合型の大型商業施設などの出入り口付近など、公示日から投票日に至るまでの期間、多くの市民が出入りする場所を確保されてはどうか。

A 副市長 ● 公共施設など多くの市民が出入りする場所の検討など、今後も宅地化その他の周辺の状況変化に対応し、より効果的なポスター掲示板の場所について見直していきたいと考えている。



金沢工業大学敷地内へ移設されたポスター掲示板



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/xc0WwX>

平成28年度一般会計補正予算を可決

野々市小学校

予算3億円来年新学期から供用開始

6月
定例会

児童数急増に伴い校舎棟増築

「まち・ひと・しごと創生事業」 予算3千万円全額を減額

平成28年度第2回6月定例会を6月9日から6月24日までの16日間の日程で開催しました。栗市長から提出された平成27年度一般会計補正予算をはじめ専決処分8件、平成28年度一般会計補正予算について、条例を含め2件の議案、人権擁護委員の候補推薦に関する諮問1件など11件を可決・承認いたしました。総務管理費において、市が申請していた「まち・ひと・しごと創生事業」に伴う予算、内閣府地方創生加速化交付金の不採択に伴い事業が中止されました。また、教育費では野々市小学校の生徒増加に伴う6教室の増築改修費などで3億円の増加となりました。予算決算常任委員会では、本事業にあたり生徒数の増加に関する情報やPFI事業についての質疑が行われました。その他、1件の意見書を採択、1件の意見書を賛成少数で不採択としました。



※写真は増築棟建設予定の野々市市文化会館フォルテ第1駐車場

議決結果一覧

平成 28 年 6 月定例会			○＝賛成、×＝反対 ※議長（早川 彰一）は採決に加わりません。															
	議 案 名	議 決 日	議 決 結 果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第28号	専決処分(平成27年度野々市市一般会計補正予算第5号)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第29号	専決処分(平成27年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第2号)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第30号	専決処分(平成27年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算第3号)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第31号	専決処分(平成27年度野々市市介護保険特別会計補正予算第3号)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第32号	専決処分(平成27年度野々市市水道事業会計補正予算第2号)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第33号	専決処分(平成27年度野々市市公共下水道事業会計補正予算第2号)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第34号	専決処分(野々市市税条例等の一部を改正する条例)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×
議案第35号	専決処分(野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認について	6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×
議案第36号	平成28年度野々市市一般会計補正予算(第1号)について	6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議案第37号	野々市市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議会議案第3号	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書	6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議会議案第4号	熊本地震災害対策と被災者生活再建支援法の充実を求める意見書	6月24日	否 決	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	－	×	○	×
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6月9日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○



西本 政之 議員

市役所庁舎北側と東側の障がい者用駐車スペースに屋根を設置せよ

正面玄関近くに4台分設置しているので、そちらを利用してほしい

- Q** 市役所庁舎正面のロータリー横にある障がい者用駐車スペースには屋根がついているが、北側と東側の駐車スペースには屋根がない。障がい者の方が雨に濡れずに車の乗降が出来るように、屋根を設置せよ。
- A** 市長 ● 正面玄関から一番近い場所に屋根つきの駐車スペースを4台分設けてある。設計段階から正面玄関の利用を想定しており、今後も正面玄関の駐車スペースを利用いただきたい。
- Q** 正面の4台分だけで十分だと聞きたが、北側と東側の駐車スペースも実際に使われている。最低限の配慮として屋根を設置すべきと考える。
- A** 市長 ● 屋根つきのものを4台分設置しているが、混雑などを把握していない。利用実態を踏まえる中で、これから研究していきたい。
- Q** 防災行政無線を載せた車両は、水害時にマフラーから水位が15センチ以上になると通行止め
- 水防実施計画について**

- Q** となり、徒歩またはゴムボートで対応するというのだが、庁舎にゴムボートの配備がない。避難指示が出されても市民が取り残されることがないように、早急にゴムボート等の備品を配備すべきと考える。
- A** 産業建設部長 ● 本市においては数地区において50センチを超える浸水が想定されているが、長時間にわたり滞留することはないと推測されるので、本市独自の救助用資機材の配備は不要と考える。万が一想定外の事象の発生となった場合には消防署に応援を要請する。
- Q** 野々市小学校の増築について
- A** 児童数の増加から平成34年度には8教室の不足が予測されるとしたうえで、当面6教室増築すると報告を受けた。最初から8教室増築したほうが建設費が低く抑えられると考える。
- Q** 教育長 ● 児童数の推移を見通すに当たっては、おおむね5年先までを考慮することとして考えている。5年先に確実に必要となると思われる6教室を増築したいと思っている。

- Q** 全国学力・学習状況調査について
- A** 4月19日の記者会見で文部科学大臣が「成績を上げるため、教育委員会の内々の指示で2月・3月から過去問題をやっている。おかしい。こんなことをするために教員になったのではない」という連絡を受け「本末転倒だ。大問題で本質を揺るがす。」と述べた。本市でも行われている過去問題の練習はやめるべきと考える。
- A** 教育長 ● 市教委は内々の指示はしていない。過去問題は年間の授業計画の中で活用するのが望ましく、学力をつけるための指導に役立てるために行うことが大切だと思っている。
- Q** 文科省からの「全国学力・学習状況調査に係る適切な取組の推進について」という通知について、具体的にどの様な取組を行ったのか。
- A** 教育長 ● 全国学力調査が実施される4月中旬に授業時間を使って過去問題を練習させるなど行き過ぎた取扱いがなくてはならないと指導した。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/UNoLA8>



金村 哲夫 議員

野々市市営墓地公園事業の今後の進捗状況は

緑豊かな空間として市民の憩いの場となるように整備を進める

- Q** 市営墓地整備等検討委員会で市営墓地公園整備計画にかかる基本構想を策定し、基本計画が報告されましたが、今後どのような事業の進捗になるのか。
- A** 市長 ● 区画整理組合など関係機関と事業調整を図りながら、基本設計、実施設計を進め、それと並行して用地取得を行い、平成33年までに、4,000区画のうち概ね1,000区画の整備を目指していきたいと考えている。
- Q** 「野々市ブランド農産物」で地域農業の活性化を
- A** 市長 ● 野々市産業戦略会議の状況を含めて「野々市ブランド農産物」の確立をどのように考えているか。
- A** 市長 ● 市総合計画やのいち創生総合戦略に沿って、認定・認証制度を研究し、制度化も視野に入れ取り組んでいきたい。
- Q** 野々市市農業委員会の継続のあり方は
- A** 市長 ● 本市では農業委員会の設置要件である農地面積の基準を満たしておらず、農業委員会を置

- Q** 全国椿サミット野々市大会の準備状況について
- A** 平成29年3月18日から19日に開催される全国椿サミット野々市大会の準備状況はどうか。
- A** 市長 ● 「総務・催事部会」、「広報・観光部会」及び「公園・産業部会」の3部会を組織し、開催
- Q** 全国椿サミット野々市大会の準備状況について
- A** 市長 ● 設置の判断につきましては、関係団体等のご意見を伺いながら、本市の農業振興における意義を踏まえて、検討を進めている。



左側の建物は、椿鑑賞展示施設
右側の建物は、椿育成施設

- Q** 中央公園の施設等の工事の進捗について
- A** 椿鑑賞展示施設、椿育成施設を整備し、また、中央公園内の南西側に芝生張りの築山にツバキを植え、園路を設けて散策ができる築山にリニューアルする計画ですが、工事の進捗は如何か。
- A** 市長 ● 椿鑑賞展示施設、椿育成施設の建築工事及び椿山の植栽工事については、5月末に完成している。現在、椿鑑賞展示施設の内装工事や椿山の園路舗装工事などを年末までに完成させたいと考えている。
- Q** 公共広告物（看板等）の安全確保と点検方法について
- A** 公共広告物（看板等）の安全管理をどのような方法でこなしているのか。
- A** 教育文化部長 ● 市内の公共広告物については、設置・管理を行うそれぞれの担当課において毎年職員による目視点検を行うことで、安全確認に努めている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/nJBa2d>



安原 透 議員

新しい文化交流拠点施設である「新市立図書館」の運用について

設計、建設、維持管理、運営を一括で民間事業者にまかせることにより、新しい視点やアイデアを取り入れ、「新市立図書館」の機能性や利便性等、市民の声に応じていきたい

A 市長 ●現在は年間約6万人である。近隣自治体を参考にすると、新図書館と市民学習センターをあわせた入館者数は年間30万人近くになると見込んでいる。運営職員体制は、新図書館と市民

Q 文化交流拠点（新図書館・市民学習センター）の入館数はどれくらいか。それに伴う運営職員体制はどのようになるか。

A 市長 ●市立図書館、市民学習センターはあくまでも公共施設であることから、市民のご意見、ご要望などを管理運営に適切に反映させていくことはまさに重要なことである。市の方針や市民のご意見を的確に運営に反映させるために、事業者と定期的に施設運営会議を開催をし、その履行状況を確認しながら市民のニーズに応え、適切な管理運営に努めてまいりたいと考えている。

Q PF事業により、指定管理者である野々市中央まちづくり株式会社と長期的視野に立った視点から、しっかりと協議をし、市民の意向を反映させていくことができるか。

A 市長 ●市立図書館、市民学習センターはあくまでも公共施設であることから、市民のご意見、ご要望などを管理運営に適切に反映させていくことはまさに重要なことである。市の方針や市民のご意見を的確に運営に反映させるために、事業者と定期的に施設運営会議を開催をし、その履行状況を確認しながら市民のニーズに応え、適切な管理運営に努めてまいりたいと考えている。

Q PF事業により、指定管理者である野々市中央まちづくり株式会社と長期的視野に立った視点から、しっかりと協議をし、市民の意向を反映させていくことができるか。

A 市長 ●開館等の時間については、全ての開館日において午前9時から午後10時まで利用できるようになる。朝1時間と夜3時間、合わせて4時間の利用可能時間がふえる。特に夜10時まで開館している図書館は、県内の公立図書館のごにもなく、大変利用しやすくなると考えている。現行の祝日の休館日は開館する。また現行の毎週月曜日の休館を毎週水曜日に変更する予定であるが、これは近隣の図書館と休館日が重ならないよう配慮したものである。新図書館ではあらゆる面で利用のしやすさが格段に向上したものとなる。

Q 新図書館における開館・閉館時間、休館日については、現在の市立図書館と比べてどのようになるか。

A 市長 ●開館等の時間については、全ての開館日において午前9時から午後10時まで利用できるようになる。朝1時間と夜3時間、合わせて4時間の利用可能時間がふえる。特に夜10時まで開館している図書館は、県内の公立図書館のごにもなく、大変利用しやすくなると考えている。現行の祝日の休館日は開館する。また現行の毎週月曜日の休館を毎週水曜日に変更する予定であるが、これは近隣の図書館と休館日が重ならないよう配慮したものである。新図書館ではあらゆる面で利用のしやすさが格段に向上したものとなる。

Q 新図書館における開館・閉館時間、休館日については、現在の市立図書館と比べてどのようになるか。

A 市長 ●開館等の時間については、全ての開館日において午前9時から午後10時まで利用できるようになる。朝1時間と夜3時間、合わせて4時間の利用可能時間がふえる。特に夜10時まで開館している図書館は、県内の公立図書館のごにもなく、大変利用しやすくなると考えている。現行の祝日の休館日は開館する。また現行の毎週月曜日の休館を毎週水曜日に変更する予定であるが、これは近隣の図書館と休館日が重ならないよう配慮したものである。新図書館ではあらゆる面で利用のしやすさが格段に向上したものとなる。

A 市長 ●今までの市の施設に合ったものとして、美術工芸の創作を行う工房機能、音楽活動としての練習場所としてのスタジオ機能など、それぞれの特徴が活かされるような効果的な運営をしていきたい。

Q 文化会館フォルテやカメラア、各公民館との差別化は。

A 市長 ●今までの市の施設に合ったものとして、美術工芸の創作を行う工房機能、音楽活動としての練習場所としてのスタジオ機能など、それぞれの特徴が活かされるような効果的な運営をしていきたい。

Q 文化会館フォルテやカメラア、各公民館との差別化は。

A 市長 ●市、白山市に在住の方並びに野々市市内に通勤通学をしている方が対象である。新図書館では現行の対象者にかほく市、津幡町、内灘町に在住する方を加えたものにししたい。また、電子図書館システム、地域映像アーカイブシステムを導入をして、紙と電子の長所をあわせ持つ図書館を計画している。県内で本市が初めての導入となる。導入初期は約3,000コンテンツを用意する予定である。コンテンツについては市民の映像や写真を継続的に収集、保存を行い充実を図り、本市の地域文化を積極的に発信していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/Z0zUfL>



五十川 員申 議員

市内事業者に対して、PPP/PFI事業に関して勉強会を開催せよ

勉強会の性質のようなものを開催することは考えておりません

Q 全PFI事業に対して応札のあった事業者数と市内事業者からの応札数を教えてください。

A 教育文化部長 ●事業は3つございました。野々市小学校施設整備事業では4グループ、それから野々市市小学校給食センター施設整備運営事業では1グループ、野々市中央地区整備事業ではこれも1グループ、計3事業で6グループの応札がありました。なお、入札条件としてグループの構成、代表企業がありまして構成企業、協力企業というふうにあります。その中では必ず市内事業者を構成協力企業に含むこととしたしております。各グループには1ないし2社の市内事業者が含まれておりますが、いずれの事業も市内事業者は代表企業とはなっておりません。

Q PFというものはデメリッとして手続が複雑というものが挙げられています。地域の事業者の中にSPCのつくり方を知らないだとか、そもそもPFって何だという事業者の方もいます。今、政府から地方に向けて大きく交付金がおりてきて大規模事業するという

A 総務部長 ●PF事業では民間事業者のノウハウを生かすという大前提がございます。そこで、PFのことをわかっていない事業者という事業者に参加を促すよう勉強会を開くということですが、事業者自身が事業者自身の知恵をつけて、事業者自身、意欲を持って学んでいただいて、PFを十分熟知の上、応募していただくことが大前提になるものであると考えますので、市が先ほど申しましたようにいわゆる勉強会の性質のようなものを開催することは考えておりません。

A 総務部長 ●PF事業では民間事業者のノウハウを生かすという大前提がございます。そこで、PFのことをわかっていない事業者という事業者に参加を促すよう勉強会を開くということですが、事業者自身が事業者自身の知恵をつけて、事業者自身、意欲を持って学んでいただいて、PFを十分熟知の上、応募していただくことが大前提になるものであると考えますので、市が先ほど申しましたようにいわゆる勉強会の性質のようなものを開催することは考えておりません。

A 総務部長 ●PF事業では民間事業者のノウハウを生かすという大前提がございます。そこで、PFのことをわかっていない事業者という事業者に参加を促すよう勉強会を開くということですが、事業者自身が事業者自身の知恵をつけて、事業者自身、意欲を持って学んでいただいて、PFを十分熟知の上、応募していただくことが大前提になるものであると考えますので、市が先ほど申しましたようにいわゆる勉強会の性質のようなものを開催することは考えておりません。

Q 県内初の電子図書館システム本の貸出対象者、および電子書籍サービスについてどう考えているか。

A 市長 ●現行は、野々市市、金沢市、白山市に在住の方並びに野々市市内に通勤通学をしている方が対象である。新図書館では現行の対象者にかほく市、津幡町、内灘町に在住する方を加えたものにししたい。また、電子図書館システム、地域映像アーカイブシステムを導入をして、紙と電子の長所をあわせ持つ図書館を計画している。県内で本市が初めての導入となる。導入初期は約3,000コンテンツを用意する予定である。コンテンツについては市民の映像や写真を継続的に収集、保存を行い充実を図り、本市の地域文化を積極的に発信していきたい。

A 市長 ●現行は、野々市市、金沢市、白山市に在住の方並びに野々市市内に通勤通学をしている方が対象である。新図書館では現行の対象者にかほく市、津幡町、内灘町に在住する方を加えたものにししたい。また、電子図書館システム、地域映像アーカイブシステムを導入をして、紙と電子の長所をあわせ持つ図書館を計画している。県内で本市が初めての導入となる。導入初期は約3,000コンテンツを用意する予定である。コンテンツについては市民の映像や写真を継続的に収集、保存を行い充実を図り、本市の地域文化を積極的に発信していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/vrdQwi>



大東 和美 議員

暴風による、学校グラウンド等の砂塵の飛散による近隣被害を解消するための手立てについて伺う

本市では、小中学校のグラウンドの周辺には防風林の植栽、防砂ネットの設置をしている



グラウンドの砂の飛散状況



※近隣住民の方は、日常も、洗濯ものを外にほとんど干すことができない。何かしらの対策を講じていただきたい。

Q 本市では、4月17日、瞬間最大風速37・5メートルの暴風が襲い掛かりました。被害状況も報告を受けました。市民の方からグラウンドの砂塵を防ぐために人工芝化により30年来の近隣住民の悲願が実現し、喜ばれている記事をもって、ご相談を受けました。本市では、砂塵の被害解消のためにどのような手立てを考えているのか伺う

A 市長 ● 観光と一口に申しませしても、名所・旧跡・文化振興・食文化など、その資源は多岐にわたっており、これらの観光資源を紹介するため、観光物産協会による展示コーナーの開設やボランティアガイドののいち里まち倶楽部、野々

Q 伝統芸能、いわゆる「和もの」を子供たちにお稽古を通じて、本市の伝統を創作し、観光につなげてはどうか

A 市長 ● 観光と一口に申しませしても、名所・旧跡・文化振興・食文化など、その資源は多岐にわたっており、これらの観光資源を紹介するため、観光物産協会による展示コーナーの開設やボランティアガイドののいち里まち倶楽部、野々

Q のってグッズの活用について、伺う。

A 企画振興部長 ● 公式キャラクターとして民間活用も営利目的であっても申請により無償で利用できる、ウェブサイト掲載の35品目のグッズのほか、広告、看板、洋菓子、エコバックなどの利用に広がり、今後も本市の魅力の発信を図りたい。

Q 野々市市観光物産の今後について

A 教育文化部長 ● 今回の異常気象による暴風においては、相当の砂の飛散がありました。芝生化も効果があるようですが、運動場の用途が制限され、滑るなど、使いにくさも出てくる。

A 市長 ● 今後、4市2町で構成する連携中核都市圏の中で、調査・研究をしたい、「サイクルトレイン」については運行事業者に働きかけてみたいと考えている。

Q 自転車の走りやすい街づくりについて、駐輪場、共有システム、サイクルトレインなど石川中央都市圏で検討してはどうか。

A 市長 ● 本年度、金沢工業大学の地域連携授業の研究テーマとして、『市内における自転車走行のあり方』の研究をお願いし、今後、その研究成果や、先進地事例を参考にしながら、調査結果・研究を考えている。

Q 自転車専用道路・走行帯について今後の本市の取り組みについての考え方を伺う。

A 市長 ● 本年度、金沢工業大学の地域連携授業の研究テーマとして、『市内における自転車走行のあり方』の研究をお願いし、今後、その研究成果や、先進地事例を参考にしながら、調査結果・研究を考えている。

Q 自転車の安全・快適な利用について

市北国街道元気プロジェクト委員会など市民による取り組みや、子どもたちには「じよんからKIDS」人間国宝の中野孝一氏が講師を務める体験教室など、一流の技に触れる事業も開催。今後も本市の魅力を内外へ発信してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/6IR48s>



北村 大助 議員

新築に建て替えされた野々市小学校が6年足らずで増築となるが当時の計画に問題はなかったか

当時の児童数の見通しは適切であったが、今回6教室が必要となることがわかり補正予算を計上した

A 教育長 ● 仮に開校時点でわかっていただいても、これだけ教室不足になると思わなかった。26年度以降、急速に児童数が増えた。

Q 時系列で検証すると当時、学校を着工する段階で、すでに教室不足が懸念出来る状態であったのではないかと。

A 教育長 ● 平成23年開校時の予測を560人とし、平成25年度までの予測児童数は実際と概ね一致している。当時の見通しは適切なものであったと思っております。しかし、平成26年度以降、野々市小学校校区の児童数が大幅に増えており、今回改めて5年先の児童数を予測し、その結果、確実に6教室が必要となることがわかり、今回の補正予算をお願いするものであります。

Q 校舎増築について余裕教室を含んだ増築内容になっているのか伺う。また特別教室など新築当初に有していた性能機能を充分に子どもたちが活用出来るのかを合わせて伺う。

A 教育長 ● 校舎増築は1、4年生まで35人学級としている。現在の基準に基づいた形での増築を考えており、さらなる少人数学級の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。特別教室の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。今回の増築が完了すれば、現在、普通教室として転用しておりますマルチルームについては、元に戻して使用したいと考えております。

Q 各施設を管理している主管課の営繕業務を延命化の観点から一元化し、専門的見地から設計・監理を行う必要があると考えるが見解を問う。

A 市長 ● 野々市市立小学校校舎増築について

A 教育長 ● 校舎増築は1、4年生まで35人学級としている。現在の基準に基づいた形での増築を考えており、さらなる少人数学級の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。特別教室の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。今回の増築が完了すれば、現在、普通教室として転用しておりますマルチルームについては、元に戻して使用したいと考えております。

Q 各施設を管理している主管課の営繕業務を延命化の観点から一元化し、専門的見地から設計・監理を行う必要があると考えるが見解を問う。

A 教育長 ● 校舎増築は1、4年生まで35人学級としている。現在の基準に基づいた形での増築を考えており、さらなる少人数学級の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。特別教室の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。今回の増築が完了すれば、現在、普通教室として転用しておりますマルチルームについては、元に戻して使用したいと考えております。

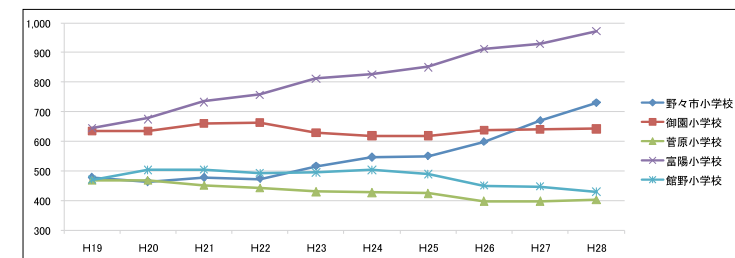
Q 校舎増築について余裕教室を含んだ増築内容になっているのか伺う。また特別教室など新築当初に有していた性能機能を充分に子どもたちが活用出来るのかを合わせて伺う。

A 教育長 ● 校舎増築は1、4年生まで35人学級としている。現在の基準に基づいた形での増築を考えており、さらなる少人数学級の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。特別教室の性能機能については、十分に子どもたちが活用できるように確保できていると考えております。今回の増築が完了すれば、現在、普通教室として転用しておりますマルチルームについては、元に戻して使用したいと考えております。

Q 各施設を管理している主管課の営繕業務を延命化の観点から一元化し、専門的見地から設計・監理を行う必要があると考えるが見解を問う。

A 市長 ● 野々市市立小学校校舎増築について

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
野々市小学校	477	464	477	473	516	545	550	598	669	731
御園小学校	635	635	661	664	628	619	621	638	640	642
菅原小学校	468	469	451	442	429	427	424	398	400	403
富陽小学校	646	676	733	757	812	826	850	911	929	973
館野小学校	470	503	505	493	494	503	488	450	447	430
計	2,696	2,747	2,827	2,829	2,879	2,920	2,933	2,995	3,085	3,179



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/sGTaqI>



岩見 博 議員

子ども貧困実態調査を

特段の状況の把握に漏れがあるとは感じていない

Q すぐれた図書館サービスの必須条件は優秀な司書がいることで、新図書館の今後の課題は、高いレファレンスの知識、能力を持った司書を確保し育てることができるとかどうかと思う。それは時間と経費を積み上げてこそ得られるもので、安定した継続雇用を保障す

新図書館の課題は高いレファレンスの知識、能力を持った司書の確保と安定雇用

A 市長 ● 市の情報の受けとめ方、情報の収集含めて、特段の状況の把握に漏れがあるとは感じていない。

Q 日本の子どもの実に6人に1人の子どもが貧困状態にある。なかでも母子家庭の貧困率は54・6%と突出している。子どもの貧困対策の推進に関する法律では、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境整備や教育の機会均等を図ることを目的に掲げ、国、地方自治体に子どもの貧困対策の策定、実施の責務を明記している。市としても、子どもの貧困対策に取り組むための実態調査を行う考えはないか。

Q 本市のごみ処理にかかわる新しい最終処分場の工事が白山市の小川町地内に進んでいる。市としてもこの機会を捉え、どうすれば野々市市から出るごみを減らすことができるのか、川崎市や名古屋市の取り組みに学んで、行政と市民が一緒に考え、取り組む機会にすべきではないか。

ごみ減量化の取り組みを

A 教育長 ● 同社にお聞きしたところ、正社員登用制度を設けており、契約社員から正社員として登用される事例もあるということです。ただ、その割合については公表されている数値はない。

Q 図書館流通センターが雇用する司書で、非正規から社員に登用された事例はあるか。

A 教育長 ● 優秀な司書になっていたことは、市民へのサービス向上につながるものと考えている。事業者には優秀な司書を多くそろえていただくように求めています。また、雇用後においても優秀な司書を育成していただくように求めています。



一般ごみの収集作業

A 市長 ● 今の質問や議論を伺って、あらゆる機会を捉えて、減量化の必要性あるいは減量化に向けたアイデアや工夫、そんなことを皆さんでお話することも大事なのかなということを感じさせていただいた。市としても皆さんに減量化に向けての協力をお願いし、取り組みをしっかりと進めていきたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/XyEDhI>



馬場 弘勝 議員

災害時の行政対応、「業務継続計画」の全職員への周知徹底はされているか

職員は、携帯用の「職員初動マニュアル」を常時携帯している

Q 非常用発電機の起動点検と電力供給範囲の確認を実施しているか。行政データのシステム稼働が困難な場合の対策方法は。

A 総務部長 ● 富奥防災コミュニケーションセンターを代替施設としている。加えて、市の区域外での代替施設について、連携中枢都市圏の防災連絡会議において検討していきたい。

Q 本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎について、数か所の代替施設のリストを順位付けして作成すべきではないか。

A 市長 ● 今年の3月に策定後、ただちに文書配布と携帯用の「職員初動マニュアル」を常時携帯するよう指示した。研修、訓練については、市総合防災訓練で実施する。

Q 「業務継続計画」とは、災害時に行政自らも被災した際に、優先的に実施すべき業務を特定し、執行体制や対応手順をあらかじめ定める計画である。全職員への周知徹底と研修、訓練方法は。

災害時における行政機関の対応、「業務継続計画」について

A 市長 ● 災害ボランティアセンターの合同研修会の開催や、市総合防災訓練では通信訓練を行い、毎年度当初には、災害時連絡担当部局と情報交換を行っている。今後必要に応じて連携の内容を検

Q 愛知県東浦町と災害時相互応援協定を締結してから6年が経過した。意見交換や具体的な対策会議、訓練の実施状況は。

災害時における相互応援協定と、職員の災害対応力向上について

野々市市業務継続計画
(平成28年3月 策定)

1. 市長不在時の明確な代行順位及び職員の参集体制
2. 本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定
3. 電気、水、食料等の確保
4. 災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保
5. 重要な行政データのバックアップ
6. 非常時優先業務の整理

A 総務部長 ● 毎年点検し、稼働の確認をしている。住民情報や税情報などのバックアップデータは、市庁舎と市外にあるデータセンターにおいて、二重に保管し、データの完全消失を防ぐ環境を整えており、このデータセンターにおいて稼働が可能である。

A 市長 ● これまで実施されてきた非常参集訓練、避難所開設訓練、情報伝達訓練等に加え、対策本部第2順位である富奥防災コミュニケーションセンターに災害対策本部を開設する訓練を新たに実施する。

Q 初動体制の強化を目標として、3年目となる本年の市総合防災訓練における職員の訓練内容は。

野々市市総合防災訓練、5か年計画について

A 市長 ● 東日本大震災において、給水活動や健康管理、総合相談業務など被災地支援に延べ29名の職員を派遣した。派遣職員の経験と報告により、「応急給水栓」を配備することにつながることでできた。また、被災された方からの話を聞き、心のケアが大切であると改めて学び、市地域防災計画と市地域福祉計画に反映することができた。今後も職場全体で共有し、災害対応力の向上に努めていく。

Q 被災地支援として派遣された本市職員の貴重な経験を伝える仕組み、他の職員の災害対応力の向上につながる取り組みの実施状況は。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/FvwPpO>



ふるさとへの恩返し

西崎 幹夫さん(中林二丁目)

中林に生まれ65年余り、学生時代の4年間、単身赴任中の約4年間を除き、この地に暮らしてきました。結婚前は「住んでいるだけ」で地元との繋がりは薄いものでした。結婚し子育てをする立場になり、子供の頃となんら変わりなく、温かく見守って下さる地元の方々の心にどれだけ助けられているのかを痛感しました。そんな自分が定年を迎えた時、ある方から、「議会の傍聴をしたら、いろいろ面白いぞ」といわれ、2011年3月議会から、本会議の傍

聴を継続しています。傍聴をしていると。開会時の「市長(当時町長)の提案理由＝施政方針の演説」本会議

中の「各議員の一般質問と、市長はじめとした行政の答弁」最終日の「討論・採決に伴う、賛成討論・反対討論」など、本人の生の声、表情、開会中の出席の方々の表情等から、真剣みが伝わり、単に「賛成」「反対」のみならず、皆さんがいかに、「市」のことを思っているかが伝わってき



ます。そのような、「見聞き」の中から、いただいていたご恩をお返しするため、一市民として何ができるか？を自身に問いかけ、現在は地元の土地区画整理事業や、子供たちの安全安心の為の「見守り隊」などを通じて、少しでも地域のお役に立てればと思っています。



明るい未来と自然在る野々市市に

川西 昌也さん(清金3丁目)

野々市小学卒、野々市中学卒の野々市っ子です。40年前と比べると市街化が進みとても住みやすい街になっているのだと思います。住みやすさランキングも常に上位で素晴らしく市民として嬉しく思います。しかしながら市街化が進む一方で自然が無くなっている様にも感じます。確かに公園に植栽はありますが人間と共存はしていない様な感じに思えます。

小学生の頃、校庭に1本の大きなポプラの木があり、風に吹かれ葉が鳴る音を覚えています。「でけ〜!」と言いながら空を見上げたものです。川にはどじょう、メダカ、ウグイや鮒がいたりすぐそばに自然があった様に思えます。野々市市には文化はありますが海も山もありません。だから他の町より自然と共存する街になることを期待しております。例えば木を1本切るとどこか他に木を植樹しなければならないとか色々あると思います。



どうか市街化＝自然破壊にならない、自然と共存し未来の子供たちが住みやすい野々市市となります様に宜しくお願いいたします。

近年午後6時になると心臓が止まるぐらいのボリュームで“野々市じゅんから”が鳴り響いていますね!小学生の頃はお寺の鐘だった様に思えます。最近では、じゅんからを聴くと私は夏の到来を感じながら過ごしています。明るい未来と自然のある野々市市に。

人事

▼人権擁護委員

北本 直美 太平寺四丁目

9月定例会の日程が決まりました

▼期間

9月6日(火)～28日(水) 23日間

▼開会

6日(火) 午前10時

▼一般質問

13日(火)・14日(水) 両日とも

午前9時30分から

▼予算決算常任委員会

15日(木)・16日(金)・20日(火)

午前9時30分から

27日(火) 午前10時から

▼総務産業常任委員会

21日(水) 午前10時

▼教育福祉常任委員会

23日(金) 午前10時

▼閉会

28日(水) 午後2時



議会傍聴をお願いします